

■ クリエイティブメンバー

「THE BAR」という、おもてなしをもとにしたホテルコンセプトに、数多くのスペシャリストが集まり、お互いに調和しながらジャパニーズモダンデザイン、現代アート、植栽などで、居心地のよい新しい京都らしさを追求しました。



クリエイティブディレクション／インテリアデザイン・外観デザイン監修 中原 典人

建築家・インテリアデザイナー／UDS 株式会社 取締役副社長／一級建築士

1968年生まれ。和設計事務所を経て、1999年 UDS 入社(旧都市デザインシステム)。コーポラティブハウス、賃貸住宅などの住宅をはじめ、ホテル・商業施設・オフィスなど、建築にとどまらず、インテリア・プロダクトデザイン等も手がける。余白を残すこと、マイナスのデザインをコンセプトに空間を組み立てる。

日本の美を現代様式に解釈し、インテリアデザインから小物に至るまで、シンプルでありながら、繊細なデザインを心掛けました。シンプルなデザインにすることで、京都の現代アートや伝統工芸が引き立ち、京都らしさを肌で感じることができる環境を作ることができました。(中原氏)



アートディレクション／Sandwich

彫刻家の名和晃平が 2009 年に創設した現代美術・建築のスタジオ。アーティストの創作活動を支え、そのビジョンを具現化し、京都から世界へと発信。近年ではアートパビリオン「洸庭」など、アートと建築が融合するプロジェクトも手がける。日本の若手作家によるアートホテルの草分け的存在「HOTEL ANTEROOM KYOTO」、美大生の共同アトリエをテーマにしたカフェ「スターバックス コーヒー 京都 BAL 店」などの企画、運営に関わる。

京都のアートシーンで活躍する作家を中心に作品を選出し、館内の様々な場所に配置しました。食べることや眠ること、楽しい会話など、日常的な行為のすぐそばにアートワークが寄り添います。美術館やギャラリーでの緊張感あふれる「鑑賞」とは異なる形で、アートと新たな関係を結ぶ場としてお楽しみいただければと思います。(名和氏)



ランドスケープデザイン／荻野 寿也

〈荻野 寿也氏プロフィール〉

1960 年大阪府生まれ。1989 年家業である荻野建材に入社。緑化部を設立。ゴルフ場改造工事を機に、植栽を研究する。1999 年アトリエが第十回大阪府みどりの景観賞奨励賞を受賞。以後、独学で造園を学ぶ。2006 年荻野寿也景観設計開設。2013 年長野県松本市景観賞受賞。2015 年第 25 回日本建築美術工芸協会賞(AACA 賞)優秀賞共同受賞。

賑やかな京都駅からホテルに訪れる人々に癒しと安らぎを感じてもらえるよう、木漏れ日に包まれる半屋外空間を植栽で描きました。ベンチに腰掛けながらすぐ近くで感じられる花の香りや潤い豊かな苔・シダ、大地とつながる石、木々の揺らぎや爽やかな風を楽しんでもらえればと思っております。四季を通して変化する庭の表情を、宿泊される度の楽しみの1つにしていただければ幸いです。(荻野氏)





フラワー アーティスト ／ MICHIKO

〈MICHIKO 氏プロフィール〉

生花店勤務後、渡仏。PARIS にて生花店勤務、創作活動開始。2007 年より、東京に拠点を定めフラワー アーティストとしてデビュー。広告、雑誌等の撮影用のフラワーワークや店舗、イベント装飾で活躍。生花・植物だけでなく造花・布・紙などを使い独創的なフラワー アートの世界を創りあげる。

京都の伝統色の「京紫色」や「京藤色」「胡粉色」を取り入れたアレンジです。ドライ加工された植物はユーカリの実、シダの葉、ツル、ナンキンハゼなどをセレクト。銀色の花器に映える京都の色を合わせることで雅な和モダンを表現しました。(MICHIKO 氏)



アプリケーションデザイン ／ SU+(プラス)

〈SU+プロフィール〉

ワクワクを探す、ドアになる。この世界にあるさまざまな場所の、気候・歴史・文化。そんなありのままの魅力がいっぱいにつまつた素材。そして、それを支え、創り出し、変化させる人。そんな地域や人の魅力、モノの後ろにあるたくさんの大好きなストーリーを引き出し、感じてもらえるようなアイディアを、一足先に自分でも気づかなかつた新しい「いいな」に出会えるチャンスをつくりだします。

和をテーマに、日本の伝統色を用い、小物をオリジナルで製作しました。すべてをモジュール化することで、置く場所に合わせてレイアウトが変更できるようにしています。シンプルなデザインで、飽きの来ないものを追求して、デザインしています。(SU+氏)

